

ミッション実現戦略分（ミッション実現加速化経費）

趣旨

- 第3期中期目標期間においては、運営費交付金の中で、「3つの重点支援の枠組み」により各国立大学のビジョン、戦略に基づく機能強化の取組を推進
- 第4期では次のステップとして、その強化してきた機能を基に、我が国最大の知的インフラである国立大学が、我が国社会の公共財として、社会、経済、国民生活等の進歩にどれだけ影響を与えることができるかということ国民・社会に説明して理解を得ていく必要があり、こうした認識が、今後、国立大学のあらゆる分野にわたって共有されるようにならない
- 全ての国立大学における速やかな意識改革の浸透を助勢するため、各国立大学が社会的なインパクトを創出するために効果的な取組を分析し、その戦略的な強化に取り組むことを後押しする仕組みを導入

事項概要

- 各大学が、社会的なインパクトを創出するために**効果的な取組を分析し、その戦略的な強化を実践**するため、「ミッション実現戦略分」を創設
- 各国立大学が創出した**社会的インパクトを評価**
- 評価は、**中間（4年目終了時）及び期末（6年間終了時）に評価し、第5期中期目標期間の配分に反映**

社会的インパクト

- 各大学の教育研究活動の結果として生じた社会的、環境的なアウトカム
- イギリスの研究評価では、インパクトとは、「学术界を超えて、経済、社会、文化、公共政策・サービス、保健、環境、生活の質への効果、変化、便益」を指す

【社会的インパクトの根拠・指標の例】

- ・臨床結果、公衆の行動、公共医療サービスの向上を示す指標(救命数、感染率の減少)
- ・ベンチャー企業の成長、新製品の算出、売上高や収入、雇用データ
- ・市場化されたライセンス数
- ・実証可能な産業界との協力(知的移転パートナーシップ及び契約を含む)
- ・社会政策の変更や、社会参加の向上

財源・配分

- 第3期の運営費交付金の配分における、機能強化促進分「3つの重点支援の枠組み」の令和3年度予算額202億円を活用
- 社会的インパクトを生み出すには一定の期間が必要であると考えられることから、支援は第4期中期目標期間を通じて継続的に実施
- 令和5年度予算案において、令和4年度予算額と同額を配分

評価

- 評価時に発現している社会的インパクトを評価することを原則とし、取組内容については評価しない
- 第4期以前から取り組んでいる教育研究活動の結果についても評価の対象となりうる
- 社会的インパクトの評価は、多様なステークホルダーの視点を入れることが不可欠であり、評価の観点やグループ分けの要否等も含めた評価の方法等について今後検討

イギリスにおける社会的インパクト評価の例

【インパクトの概念】

- イギリスの研究評価では、インパクトとは、「学术界を超えて、経済、社会、文化、公共政策・サービス、保健、環境、生活の質への効果、変化、便益」を指す。

より詳細には、
「地方、国、国際などいずれかの地域における、聴衆、受益者、コミュニティ、顧客、個人、組織、活動、態度、認識、行為、能力、機会、実績に対する効果、変化、便益」と説明されている。

【社会的インパクトの根拠・指標の例】

- ・ 臨床結果、公衆の行動、公共医療サービスの向上を示す指標(救命数、感染率の減少)
- ・ ベンチャー企業の成長、新製品の算出、売上高や収入、雇用データ
- ・ 市場化されたライセンス数
- ・ 実証可能な産業界との協力(知的移転パートナーシップ及び契約を含む)
- ・ 社会政策の変更や、社会参加の向上

※イギリスの研究者・カウンシルにおける指標の例

【例：オックスフォード大学が公開している研究インパクト事例】

医学分野：脳卒中予防法的大幅な改善

- ・ 軽度脳卒中の数日後の大脳卒中のリスクが想定されていたよりも高いことを発見。既存の治療法を緊急使用することで、大脳卒中リスクを約80%減少。
- ・ 全国脳卒中戦略や、英国および国際的な臨床ガイドラインへ影響。年間約10,000回の脳卒中を予防し、救急治療費だけで最大2億ポンド節約することが期待。

工学分野：排ガスから液体燃料を製造する技術による起業

- ・ 低価値の廃ガスを高品質の液体燃料に変換できる触媒と反応器の研究開発を推進。
- ・ 大学がスピンアウト企業Oxford Catalysts Group（現在のVelocys）を生み、新規株式公開は1500万ポンドを調達。同社は、すでに数百万ドル相当の注文を受けている。

社会科学分野：移民労働者への需要分析による政策への影響

- ・ 6つの異なるセクターにおける移民労働者の役割を分析し、英米比較。低賃金労働者を増やす雇用政策と移民政策の整合性が必要と指摘。
- ・ 英国内務省の移民諮問委員会、米国の移民改革に関する法律、オランダの政策に影響。

REF2021 ※の要項において示されたインパクト領域の例

インパクトの領域の例
人々の健康と福祉、および動物福祉への影響
創造性、文化、社会への影響
社会福祉への影響
商業や経済への影響
公共政策、法律、サービスへの影響
生産への影響
実務家と専門的サービスの提供、実績の向上、倫理的な実践への影響
環境への影響
理解、学習、参加への影響

※イギリスの研究評価：Research Excellence Framework (REF) 2021

社会的インパクト評価の基本的なフレーム

- 評価時に発現している社会的インパクトを評価することを原則とし、取組内容については評価しない
- 第4期以前から取り組んでいる教育研究活動の結果についても評価の対象となりうる
- 社会的インパクトの評価は、多様なステークホルダーの視点を入れることが不可欠であり、評価の観点やグループ分けの可否等も含めた評価の方法等について今後検討
- 中間（4年目終了時）及び期末（6年目終了時）に評価し、第5期中期目標期間の配分に反映

評価の実施に当たっての主な論点

論点① 社会的インパクトの定義等

- 本事業において評価対象となる社会的インパクトの定義
- 評価対象となる社会的インパクトの発現タイミング
- 評価対象となる社会的インパクトの数

論点② 評価の体制・方法

- 評価体制の在り方
- 評価の観点
- 評価の具体的な手順
- 評点の付し方

論点③ 評価結果の反映

- 運営費交付金への反映方法
（※原則として文部科学省において検討）

論点④ その他

- 取組の進捗把握
（※取組内容については原則として評価しないことから進捗把握は不要か）